



1. 考古学の知識と発掘技術を身につけたい
2. 豊かな社会とは？
3. 総合交通体系

1. 最近のある新聞（東京版）に武蔵野西線（東京外環状鉄道）工事で将来駅前となるところに“幻の寺”跡があり、その調査が行なわれると報ぜられている。

この場合は別として、一般に遺跡と開発の記事では、考古学者の“善玉”と遺跡を破壊する建設者は憎っくき“悪玉”として報ぜられることが多い。

遺跡の大部分とくに古墳などは、われわれ土木技術者の大々先輩が、古代においてつくった一大モニュメントであるから不思議である。

埋蔵文化財の学術調査件数が平均年 200 件に対して、開発に伴う緊急調査件数は 745 件（昭和 44 年）にのぼっている。そのうえ、専門的な研究者は数が少ない（土木学会誌 56 巻 1 号）といわれている。

太古からこの列島に住み着いた人類の歴史を正しく子孫に伝え残すことも国家的事業であれば、立派な国土を開発し、住みよい列島とすることもまた同じである。お互いに歩み寄り、完全にすすみやかな調査の完了と、必要な遺跡の保存、建設開発の促進をはかるべきであろう。このため、土木工学を志すものに必要な考古学の知識と、発掘技術を教育することはいかなものだろうか。

多くの土木技術者が、国土の開発と先人の残した記念物の保存両面で活躍することも、また楽しいことである。 [J]

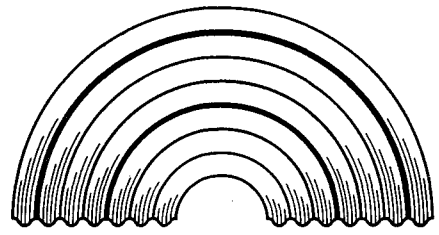
2. 今年も台風がやってきた。23 号台風は太平洋沿岸を中心に汚染された大気や水を洗濯してくれたのであろうか。台風通過後のすがすがしい空気の味と紺碧の空は、すばらしかった。先日、夏休みを利用して岐阜県の北、白川郷を訪ねた。私は田舎に育ったため、家の造りにはさほど興味は覚えなかったが、そこには田舎の匂いとでもいえようか、さわやかな空気と緑や家畜の糞尿のしみこんだ土の匂いがあった。涼感あふれる清水の流れがあった。

その夜、NHK のテレビは緑陰講座と称するものを放送していた。講師は今日の問題、過密・過疎、公害問題など、ゆきづまりにきている社会問題に対して一試案を述べていた。一例として、電力料金について過密状態の関西や関東の料金を高くし、過疎に悩む地域の料金を下げ、さらに税制面その他でも対応策をとり、国土を広く使えるような政策を実施せよという内容であった。一聴講師は「富の再配分がむずかしいのではないか」などの疑問を出していたけれども、筆者の頭の中には「一体、人間にとって幸福で豊かな社会とは何であろうか」という自問が最後に残った。 [S]

3. 7 月に運輸政策審議会から「総合交通体系」に関する答申があった。45 年 6 月諮問がなされて以来 1 年有余の間、東大の八十島教授を部会長とする関係各界の有識者が、一堂に会しての慎重な検討の成果である。答申はまず 1960 年代の経済社会の高度成長に果たした交通の役割を高く評価しつつも、その過程において発生した混雑・渋滞・事故・公害等の問題点を指摘する。同時に、1970 年代における交通需要の質・量の変化を通じて目標年次である昭和 60 年度における旅客人キロは昭和 44 年度の 2.6 倍、同じく貨物トンキロは 5.0 倍と推定し、現在の問題の解決と将来の交通需要に対応するためには、従来の個別体系ごとでは不可能であることを指摘し、総合交通体系の必要なる理由を強調する。総合交通体系は各交通機関の特性を考慮しつつ、全国・国際・大都市および地方の交通体系に分類してネットワークを構成することをめざし、そのための交通施設整備に 100 兆円の投資を要するとしている。総合交通体系は交通関係者の久しく待ち望んできたところであり、検討にあたっては“青い鳥”にたとえられてきたという。本答申を機に交通関係者の一人として、この総合交通体系の具体的推進に努力する意を固くすると同時に、関係者のすべてが、この“青い鳥”へ向けて努力されることを熱望する次第である。 [C]

Vol. 56-7 号から 9 号までの本欄の執筆は、下記編集委員が担当しました。
J. 倉西茂, S. 浅沼堯, C. 橋本宏

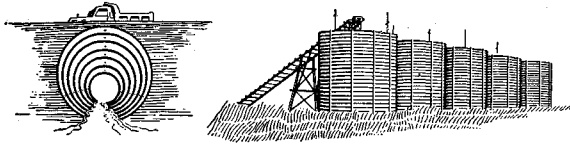
集排水路用としてならもう常識化したエコノルゲートパイプの強さ。その強度の秘密は「波形」にあります。厚手の亜鉛メッキをしたSPHD鋼板に独自の「波付け」をして半円筒形にプレハブ化したこのパイプ。板厚がおなじでも波形のないパイプの数倍の丈夫さです。しかも軽くて扱いやすく、楽に運んで早く組立てられ、できあがりの体裁もスマート。時代にマッチした設計と経済性が、通路・骨材サイロ・飼育サイロ・コンベアーカバー・護岸用など、新しい用途でも評判です。



波形のメリツトが生んでいます
新しい用途を

エコノルゲートパイプ

◎信頼される新日本製鉄グループの一員です



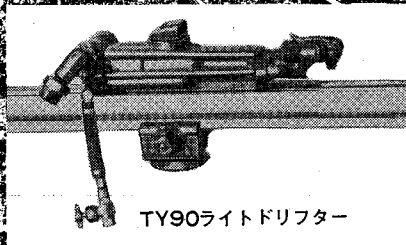
日鐵エコン株式会社

本社 / 東京都中央区日本橋江戸橋3丁目2番地 第二丸善ビル 電話03/2725071大代表
支店 / 大阪 06(203)5371 名古屋 052(261)1021 九州 093(68)4734
営業所 / 札幌・仙台・新潟・広島・静岡

山陽新幹線工事に不眠不休

TY90 ライトドリフター

トンネル新幹線の異名をもつ山陽新幹線——
この山陽路の山肌をアタックしているのが
〈TY90ライトドリフター〉です
大きく孔速度、操作性、経済性
安全性にすぐれており、山陽新幹線のために
開発された新鋭機です



TY90ライトドリフター

発売元
Ⓐ 東洋さく岩機販売株式会社

東京本・支店：東京都中央区日本橋江戸橋3-6
支店・営業所：大阪・名古屋・福岡・札幌・仙台・高松・広島

製造元・広島 Ⓞ 東洋工業株式会社